

令和 7 年 10 月 第一回 地域連携推進会議 報告

日時：令和 7 年 10 月 28 日（火）

10：00～11：30

場所：本部会議室

参加者：養和荘利用者 1 名

第二養和荘利用者 1 名

利用者の家族 2 名

地域の関係者 1 名

福祉に知見のある人 1 名

市町村の障がい福祉担当者 2 名

養和荘長 1 名、課長 2 名

第二養和荘長 1 名、課長心得 1 名

1 開会挨拶

養和荘荘長より挨拶

2 出席者挨拶

上記参加者順に自己紹介を行う。

3 施設紹介

スライドショーにて会議の概要説明、法人の成り立ち、養和荘と第二養和荘の説明を行う。

（1）会議の概要（目的・役割）

（2）法人の説明（歴史・事業所紹介・基本理念）

（3）養和荘の説明（基本方針・スケジュール・日中活動・余暇活動等）

（4）第二養和荘の説明（基本方針・日中活動・アート等）

（5）地域開放（グラウンド）、保護者会

4 質疑応答・意見交換

（1）外出やイベントが多くあるが、人員配置や安全性はどのように心掛けているか。

→養和荘では元気な利用者が多いため、4～5 人の利用者に対し、2 名の職員で引率している。強度行動障害を有する利用者は 5 人に対して 3 人職員が引率することもある。コロナ期間を経て 5 年間外出がなかったため、職員の中には利用者と外に行くことが初めての者もあり、昨年度は施設を貸切して外出をした。

一般の方にご理解をいただきながら、今年度動物園や水族館などに行き始めた。

→第二養和荘は、ここ10年で体力が一気に落ちたイメージがある。近隣のアピタに外出に行き、トイレに行った時点で既に疲れてしまう利用者もいる。近隣のコンビニへ出かけたり、運転手を外部に委託して職員の負担を減らしながら、外出を行っている。気分転換を図れるようにキッチンカーを施設に読んだりしている。

(2) ボランティアについて、沢山受け入れていると思うが、どのように募集しているか

→社協やボラセンターに問合せをし、チラシを持って行っている。ボランティア担当が積極的にアポイントを取り、マッチングを行っている。突然ボランティアしたいと来荘する一般の方は今はない。一度来ていただくと次に繋がることが多い。今回同席している利用者の保護者様もお茶やお花でボランティアに来ていただいていた。セラピー犬のボランティアも近隣の高齢施設からご紹介を受け、養和荘に来てもらうことになった。

(3) 現在町内会を主体とする行事が主流となっており、施設と連携できるものがない。協力できるものは協力したい。

(4) 自施設も外出が難しく介護支援で手一杯な状況。有償だが移動支援を活用している。本人の希望もあり、九州へ2泊3日に出かけている。

昔は盆踊りも行っていた。お祭りを今年度地元の中学校を拠点とし、校区を一体化し11月に行うとの情報あり。今後施設として参加出来るかどうかを考えて行けると良い。

(5) 保護者会として、施設から依頼があれば、協力できることは協力する体制で行きたいと思っている。地区においても盆踊りなど協力依頼があれば協力していきたいと思っている。

(6) 昔は京都や宝塚に連れて行ったが自身の身体もしんどくなってきた。息子夫婦にも協力を依頼している。外出はしようと思う

5 まとめ

コロナ前は「ふれあいまつり」というイベントを実施し、地域の方もお招きし、盛大に行っていた。

防災について、地域の方が頼りにするかというと、難しい。いざという時に養和荘が何を運営している施設かわからないと思う。介護保険の施設は「将来お世話になるかも」と思いがあり意識をするが、障害者施設は「関係ない人は関係な

い」と思われがちであるため、今後、施設・法人のアピールを行っていく必要がある。

グラウンドの貸し出しは行っており、高校や中学のラグビークラブが使用していた実績はある。今後、地域の方とお話をしながら施設として行えることを検討していきたい。

- 6 次回、施設見学を R8 年 3 月 4 日に予定している。本日お渡しした回答書を返信封筒に入れ 11 月 14 日までに返信を依頼する。

令和8年3月 第一回 地域連携推進会議 施設見学 報告

日時：令和8年3月4日（水）

10：00～11：30

場所：本部会議室

参加者：養和荘利用者1名

第二養和荘利用者1名

利用者の家族2名

地域の関係者1名

福祉に知見のある人3名

市町村の障がい福祉担当者2名

養和荘長1名、課長2名

第二養和荘長1名、課長心得1名

1 開会挨拶

現在養和荘女性フロアでコロナが発生しており、2階の見学をご遠慮していただきたい。見学の順番も第二養和荘からとさせていただく。

2 施設案内

（1）第二養和荘

1階から順にフロアを一周、その後2階の案内を行う。

（2）養和荘

スヌーズレン棟の見学後、1階の事務所や多目的室（ヒップホップ活動）3階居住棟フロア、食堂及び一人の方の居室を見学する。

3 出席者挨拶

開会時に出席者が揃っていなかった為、この時間にて自己紹介を行う。

4 質疑応答

（1）グラウンドでコロナ時に使用していた物品の保管場所を見せてもらったが、現在のコロナ対応はどのようなことをしているか。

→養和荘は全室個室の為居室で静養している。静養できず出てきてしまう利用者もいるため、同意のもと施錠をする場合もある。異食がある方もいらっしゃる、フロアに安易に消毒を置けないため、2類のときはベランダから出入りする方法も取っていた。マスクできない利用者が多いため、1階や各階スタッフルームをクリーンゾーンとして徹底することを重要としている。

→第二養和荘は、養和荘ほど動き回る利用者がいないため、感染したら各居室にて静養をしている。完全な個室ではない為、壁側の個室へ移動し静養する場合もある。

(2) 養和荘でテレビを木枠で囲っているのを見たが、どんなトラブルがあるか。

→昔はチャンネル争いがあったが、居室で個々で見れるようになったため少なくなってきた。拘りでテレビの破壊を防ぐために、テレビを木枠に入れている。利用者はテレビが大きな情報源で食べたい物や行きたい所を教えてくれるツールとなっている。

(3) 第二の最高齢はいくつの方ですか。

→第二の最高齢は94歳。一番若い方は64歳。80代の方が4名おり、平均は70代となる。養和荘が開設したときに入所した昭和23～26年の利用者が多い。70代の方より80代の方の方が元気な印象。保護者は親から兄弟に変わってきている。

(4) 男性棟に女性職員がいらっしゃるが、女性棟にも男性職員がいるんですか。

→2階女性フロアに男性は入っていない。比率として利用者の男女比が2:1に対して職員の男女比は1:1なのでどうしても女性支援員が男性利用者の支援に入る。4階は強度行動障害を有するの利用者が多く、男性支援員のみとしている。

(5) 利用者情報の共有はどうしていますか

→記録システムにより全職員が全利用者の情報を確認することができる。

(6) 第二養和荘は利用者の男女が混合となっているがしくみはどうなっていますか？

→以前は男女同じ比率であったが、20年以上経ち比率が変わってしまった。フロアを一緒にしている根本の理由はない。

5 閉会挨拶

。